



参考値出所：平成 27 年（2015）医療施設（動態）調査 病院報告の概況 表 5 病院の平均在院日数（東京都）

## ■退院支援と逆紹介の促進による在院日数の短縮

平均在院日数は 2015 年度中に入院した全ての患者さんが治療から退院までに要した平均の日数を示しています。2013 年度から在院日数は短縮傾向にあり 2015 年度では 8.9 日と初めて 9 日を下回る事となり参考値と比べて 5.2 日短い入院日数となりました。

患者さんが荻窪病院を受診してから退院するまでの過程で医師のほか、看護師、薬剤師、管理栄養士などの各医療職種が介在し、術後の急変や副作用、感染症に配慮した治療計画を設定し治療を行っている事と入院当初に設定する診療計画に遅れが生じない入院管理と退院支援、逆紹介を実施した事が平均在院日数の低下に大きく寄与致しました。

1 人あたりの在院日数を短縮する事で多くの入院治療を必要とする患者さんの受入が可能となります。急性期病院は治療を必要とする方の早期社会復帰を目的とした病院の形態です。その為には治療と術後看護に集中し症状が落ち着いた後、療養型の病院や介護施設に安定した状態でお戻り頂く事が診療と看護における重要事項と考えています。

